

第48回神奈川産婦人科内視鏡研究会

抄録集

【演題 2】

新たな筋腫回収方法の試み～メトラバッグ®□を用いたモルセレーションと Alexis®□CES を用いた経膈回収の経験～

【所属】

大和市立病院 産婦人科

【演者】

石坂 麻莉

【共同演者】

長谷川 哲也、越後貫 優、魚本 真理、山本 藤尾、牧野 睦子、鈴木 絢、
祐森 明日菜、持丸 綾、石川 雅彦

【抄録】

【緒言】 腹腔鏡下子宮筋腫核出術においては、子宮筋腫の総容積が大きい場合の搬出方法がしばしば問題になる。2014年の米国食品医薬品局（FDA）の電動モルセレーター使用についての勧告および腹腔内筋腫飛散に起因する異所性子宮筋腫や子宮肉腫の播種の報告を受けて、筋腫回収バッグを用いた in-bag モルセレーションが多くの施設で実施されている。既存の回収袋としてはアイソレーションバッグ、Morsafe®□、MOR バック®□などがある。2021年9月に登場したメトラバッグ®□を用いた腹腔鏡下子宮筋腫核出術を当院で経験した。

【考察及び結論】 アクセスポートが3つの色がついたトロッカー別に分かれ視覚的にわかりやすいこと、腹腔内でのバッグの展開が比較的容易でありワーキングスペースが確保しやすいことが利点と考えられた。また、Alexis®□CES を用いて筋腫を膈回収し、膈部Z切開法を併用して創部の過度な延長を回避した方法を経験した。既存の回収方法と比較した各々の使用感および課題を報告する。

M e m o

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

【演題 3】

婦人科悪性腫瘍との鑑別に診断的腹腔鏡下手術が有用であった 2 症例

【所属】

済生会横浜市東部病院 産婦人科

【演者】

渡辺 隼

【共同演者】

平野卓朗, 小笠原あゆみ, 田口圭祐, 野村奈央, 佐々木拓幸, 比嘉誠子,
折田智彦, 吉田卓功, 伊藤めぐむ, 秋葉靖雄

【抄録】

【緒言】 婦人科悪性腫瘍との鑑別に腹腔鏡が有用であった 2 例につき報告する。

【症例】 症例 1 : 75 歳。腹水と下腹部腫瘤の精査で当院を受診し、画像検査で胆嚢壁肥厚と腹膜多発結節影を認め胆嚢癌または腹膜癌を疑い、腹水細胞診で腺癌を認めた。診断的腹腔鏡下手術を施行し子宮と卵巣は正常所見であったが腹腔内および胆嚢周囲に多発播種結節を認めた。生検した播種組織の病理検査で消化器由来の腺癌と判明し胆嚢癌 IVB 期と診断した。症例 2 : 78 歳。貧血の精査で画像検査を行ったところ腹水貯留と骨盤内多発軟部影を認め卵巣癌または腹膜癌を疑い当科受診した。腹水細胞診は陰性であり、診断的腹腔鏡下手術を施行し子宮と卵巣は確認できなかったが骨盤内に播種結節は認めず腹膜肥厚を広範囲に認めた。生検した腹膜組織の病理検査で悪性腹膜中皮腫と診断した。

【結語】 術前検査で診断困難な婦人科と他科領域の悪性腫瘍の鑑別に診断的腹腔鏡下手術は有用である。

M e m o

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

【演題 4】

当院での経腔的内視鏡手術（vNOTES）の導入経験

【所属】

新百合ヶ丘総合病院 産婦人科

【演者】

高野理紗

【共同演者】

有馬宏和、富倉彩加、菊地まほみ、別宮若菜、神野友里、中摩佑子、安藤まり、高松愛、深瀬実加、仙道可菜子、益子尚子、大久保はる奈、佐藤美和、奥野さつき、原周一郎、浅井哲、樋口隆幸、田島博人、竹本周二、浅田弘法

【抄録】

【緒言】 vaginal Natural Orifice Transluminal Endoscopic Surgery(vNOTES)は従来の腔式手術・内視鏡手術と比較し低侵襲であるとされている。vNOTESを施行するために独自のデバイス使用が必要である。当院では2022年7月よりvNOTESを開始したため導入期の周術期成績を報告する。

【症例】 2022年7～8月にvNOTESによる子宮全摘出術を7例施行した。

【結果】 手術時間中央値61分(45-77分)、出血量中央値58g(0-120g)、摘出検体重量中央値141g(89-180g)だった。術中術後合併症はなく、術後在院日数中央値2日(2-3日)だった。

【考察】 vNOTESは従来の内視鏡手術と比較し術後疼痛が少ないとされている。導入にあたりデバイス使用のためのセミナー受講や動画学習を要するが、ある程度の腔式・内視鏡手術の経験があれば導入は比較的容易である。また、腔式手術の経験が少ない世代への教育としても有用である。

【結語】 セミナー受講や動画学習によりvNOTESを安全に導入することが可能だった。今後症例を蓄積し、従来の腔式手術・内視鏡手術との比較検討を行う必要がある。

Me m o

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....